

### 直管LED器具 富士型 照明器具 階段通路誘導灯・非常用照明器具兼用型（電池内蔵型）

（一般屋内用）

品番 N N F G ( N N F G H ) 2 1 0 0 2 J

※上記（ ）内は加工品番です。（以降、加工品番の記載を省略します。）

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

#### 施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

#### 安全に関するご注意

##### 警告

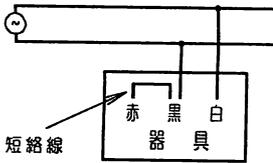
- 施工は、施工説明にしたがい確実にこなう。  
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 器具、ランプを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- ランプはガラス製のため、取扱に注意する。破損によるケガの原因となります。  
万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- ランプが破損した状態で使用しない。落下、感電、火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。  
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
- 蓄電池を短絡・分解などしない。火災・破裂・感電・やけどの原因となります。
- 水平天井取付専用ですので、壁面取付はしない。非常灯性能を満足しない恐れがあります。

##### 注意

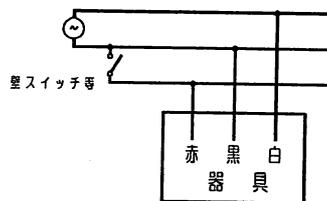
- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。  
落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で使用してください。  
指定外の周囲温度で使用すると、蓄電池の劣化、ちらつき、短寿命及び非常点灯しない原因となります。
- この器具の電源は、専用回路にしてください。
- 非常用照明器具として使用する場合は、次のように配線してください。
- 階段通路誘導灯として使用する場合は、常時連続点灯してください。  
常時消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。  
自動火災報知設備との連動が必要なため、誘導用信号装置などを用いて消灯してください。

#### 配線種類

- ・2線式（連続点灯する場合）
- ・3線式（壁スイッチなどで点滅操作する場合）



※短絡線は器具端子台に接続されています。



※器具端子台の短絡線を取り外して配線してください。  
※壁スイッチは、赤線回路に設けてください。  
※壁スイッチで消灯しても電池への充電は行われています。

※階段通路誘導灯として使用する場合は

誘導灯信号装置を用い、自動火災報知設備の動作と連動させてください。

詳細は信号装置の取扱説明書をご参照ください。

- 電源を通电せずに、蓄電池を接続したまま放置しないでください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。

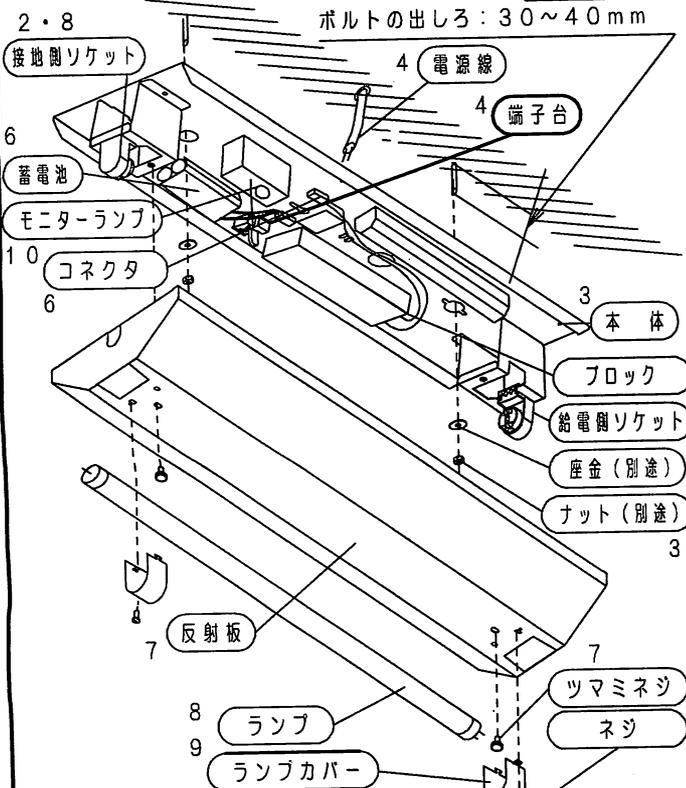
#### 施工上のご注意

- ・T/U付6Aリレーを使用する場合、照明器具の接続台数に制限があります。詳細については、該当T/U付6Aリレーのカタログ・商品仕様書を参照してください。

# 各部のなまえと取付方法



施工は、施工説明書にしたがい確実にこなう。  
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

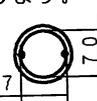


ボルトの出しろ: 30~40mm

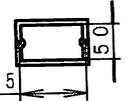
## 1 取付前の確認

- 器具質量 (2.8kg) に十分に耐えるよう、取付ボルト取付部の強度を確認する。  
(取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。)
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。

丸穴カバーの場合



スイッチカバーの場合



(DS4311等) 66.7

(DS4611等) 83.5

不備があると器具落下の原因となります。

## 2 ソケットの取付

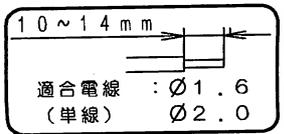
- ソケットをソケット台にくぐらせて確実に取り付ける。

## 3 本体の取付

- 電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
- 本体を取付ボルトに確実に取り付ける。  
(取付ボルト推奨トルク値 1.5N・m)
- 器具内線を座金やナットで挟み込んでいないか確認する。  
不備があると器具落下・感電の原因となります。

## 4 電源線の接続

- 電源線を確実に差し込む。
- 端子台の容量は、20Aです。  
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。



## 5 アース線の接続

- D種 (第3種) 接地工事が必要。
- アース線をアース接続端子に確実にカシメる。



接続が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

## 6 コネクタの接続

- 常用電源通電後、コネクタを接続する。
- 方向を合わせ確実に奥まで差し込む。  
接続が不完全な場合、非常点灯不点の原因となります。

## 7 反射板の取付

- モニターランプと反射板の穴の位置を合わせる。
- 点検スイッチを穴に通す。
- ツマミネジを締め付けて反射板を確実に取り付ける。  
取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。

## 8 ランプを確実に取り付ける

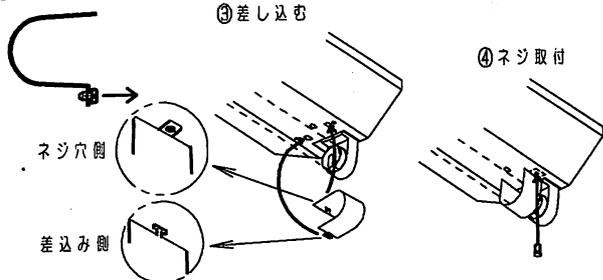
- 適合ランプは、4ページ「定格」を参照してください。

## 9 ランプカバーの取付 (2ヶ所)

- ランプカバーのネジ穴側を反射板に差し込み引っ掛ける。
  - 内側へ指で押しながら反対側を角穴に差し込む。  
(最後まで確実ににはめ込んでください)
  - ドライバーで同側のネジを締め付け固定する。  
ネジ頭の破損防止の為、電動ドライバーは使用しないでください。
- 指定以外のランプ使用を防止するため必ずランプカバーを取り付けてください。

①ネジを取り外す

②ネジ穴側を合わせ差し込む  
③差し込む

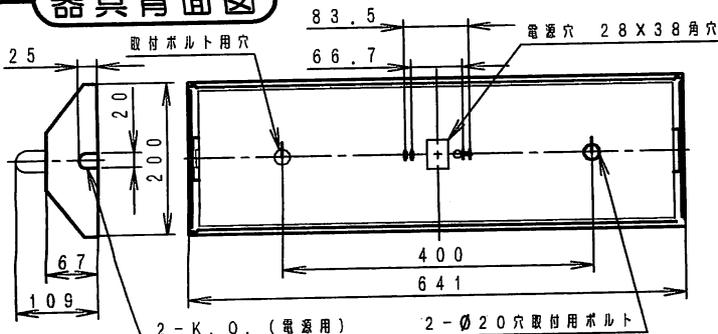


ネジ穴側から先にしっかりと差し込んでください。落下の原因となります。

## 10 点灯確認

- 電源通電状態で、ランプ及びモニターランプが点灯するか確認する。
- 点検スイッチを引き、非常点灯を確認する。(充電モニターは消灯します)  
正常に動作しない場合は「故障かな?と思ったときは」の項を参照してください。

## 器具背面図



①ランプの向きを合わせる



②ランプを奥まで挿入する

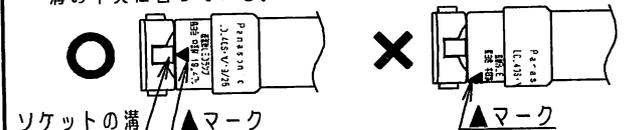
③90°回転させる

④奥まで挿入されている (奥まで挿入されていない)



⑤ ▲マークが給電側ソケットの溝の中央に合っている。

▲マークが給電側ソケットの溝の中央に合っていない。



取付が不完全な場合、ランプ落下、照度低下の原因となります。

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。  
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

## 安全に関するご注意

### 警告

- 器具、ランプを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- ランプはガラス製のため、取扱に注意する。破損によるケガの原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- ランプが破損した状態で使用しない。落下、感電、火災の原因となります。万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
- そのままで使用すると、感電・火災の原因となります。
- 蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしない。破裂する危険があります。
- 蓄電池は分解しない。火傷、感電の原因となります。電池内の液は、皮膚や衣類をいためず。
- 蓄電池をショートさせない。破裂、火傷、感電、火災の原因となります。

### 注意

- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 照明器具には寿命があります。(※1)法令に基づいて定期的に点検を実施してください。点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などにいたる場合があります。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 長時間器具を使用しないときは、蓄電池を外してください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。(チェックシート番号：CLX2021HA) お受けください。必要な場合は当社営業所へお申し出ください。(チェックシート番号：CLX2021HA) 点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

※1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8~10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4~6年です。  
非常用照明器具の場合、使用条件は、周囲温度30℃、1日10時間点灯です。

■ LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。

### 使用上のご注意

- ・ 調光機器などとの組合せはできません。
  - ・ ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離して使用してください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
  - ・ 同時通訳機などの誘導無線を使用する場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
  - ・ LED素子にバラツキがあるため、同じ品番のランプでも光色・明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
  - ・ 接地極のない電源に接続する場合は、消灯後もランプが薄暗く発光する場合があります。あらかじめご了承ください。
  - ・ 電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。あらかじめご了承ください。
  - ・ ランプピンやソケットの導電板が酸化(腐食)し、不点灯に至る場合があります。
- 湿気の多い場所、腐食性ガスの発生する場所では、使用しないでください。

### お手入れ・部品交換

- ・ 器具の清掃について-----水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

- ・ ランプ交換について-----この器具は、非常用LED照明器具です。ランプ交換の際は、必ず下記に指定のパナリニック製ランプをご使用ください。

直管LEDランプ	蓄電池
LDL20S・N/11/12-K	FK849 (4.8V 3000mAh)

- ・ ランプの向きを合わせて取り付けてください。
- ・ ランプをソケットの奥まで確実に挿入して取り付けてください。
- ・ ランプを確実に90°回転させて取り付けください。(2ページ「各部のなまえと取付方法」参照)

- ・ 蓄電池交換方法-----下図を参照のうえ確実にこなってください。

- 1 ランプカバー、ランプをはずす。
- 2 反射板をはずす。
- 3 蓄電池を交換する。
  - ・ 蓄電池コネクタを抜く。
  - ・ 蝶ナットと電池ホルダーをはずし、蓄電池を交換する。
- 4 蓄電池を取り付ける。
  - ・ はずした手順と逆の手順で確実に取り付ける。
  - ・ 蓄電池コネクタは確実に差し込む。
- 5 反射板、ランプ、ランプカバーを取り付ける。
  - ・ はずした手順と逆の手順で確実に取り付ける。
- 6 点灯確認
  - ・ 電源通電状態でランプおよび充電モニタが点灯するか確認する。
  - ・ 点検スイッチを引き非常点灯を確認する。

### 警告

- 感電のおそれあり  
ランプ交換時は、必ず電源を切ってください。
- ランプ破損のおそれあり  
ランプはガラス製です。取扱に注意してください。
- やけどのおそれあり  
点灯中や消灯直後はランプやその周辺をさわらないこと。
- 非常時に正常点灯せず  
必ず指定の適合ランプを使用すること。

